

横浜地区連絡協議会道路調査レポート

【調査の趣旨】

2021年1月23日に開催された横浜地区連絡協議会第2回幹事会で確認した政策制度要求の案件11件を実態調査いたしました。

【調査方法】

2021年3月12日に高橋議長・高嶋副議長・鈴木の3名にて現場検証を行った。

【調査結果概要】



金沢区鳥浜町3-5-2前

(現状課題)

国道357と東京入国管理局間の交通量が多く反対側に人・自転車の横断が非常に危険である。

(要求・改善策)

信号機の設置を希望、車は感應式信号機、人・自転車は押しボタン式信号

(調査結果)

車渋滞を考慮して歩行者は押しボタン式信号機の設置が一番良いと思われる。



神奈川区橋本町2丁目交差点

(現状課題)

右折ができない交差点で標識が停止線から見えない所にある。右折する人が多く警察がよく張り込みをしている。

(要求・改善策)

標識の位置の変更。停止線に止めて見える位置に設置か迂回標識設置の要望。

(調査結果)

右折禁止標識より停止線が先にありわかりづらい。停止線を手前に変更するか、迂回標識案内の設置を要望。



不老町交差点付近

(現状課題)

歩行者・自転車の横断する人が多く車が多数スピードを出してくる通りのため危険である。

(要求・改善策)

信号機か横断歩道の設置を要求する。

(調査結果)

横断する人は見受けられず横断歩道の設置利用度が感じられず見送りと判断



中区根岸加層台24-2

(現状課題)

止まれ方面から来た際、左側から坂道のためスピードを出して自転車が下って来るので見通しが悪く危険である。

(要求・改善策)

止まれ停止線はあるが見通しが悪いのでカーブミラーの設置を要望する。

(調査結果)

左側の壁が高く非常に見通しが悪い、左側から自電車など確認するのが非常に困難なためカーブミラーの設置を要望。



中区大和町2-31

(現状課題)

カーブミラーが設置されているが、高すぎて見づらくなっている。

(要求・改善策)

設置位置の変更

(調査結果)

住宅スペースから専用に取り付けた個人的なカーブミラーのため行政には要望する内容ではない。



伊勢山小学校入口付近

(現状課題)

泉区泉中央南にある伊勢山小学校入口の信号が伊勢山小学校側からの青信号が短いため、スピードを出して信号を曲がろうとする。公園があり子供が飛び出す可能性があり危険である。

(要求・改善策)

飛び出し注意喚起の設置及び減速させるための施策を要望。

(調査結果)

青信号が車3台分で変わってしまう為、それを知っている車両が速度を上げて走行するので、子供が飛び出し注意の看板設置を要望。



鎌倉市佐助一丁目交差点

(現状課題)

交差点手前に電柱と停止線があり補助信号も見えにくい為停止線を越えて停止する車両があるため対向車が来て立ち往生する事がよくある。

(要求・改善策)

電信柱の移設か停止線の後退を要求します。

(調査結果)

電信柱の移設が可能であれば標識ごと撤去が良いができない理由があると思われる。予告信号を左側に設置するか、縦ではなく横の予告信号を要望する。



逗子市桜山7丁目8番地付近

(現状課題)

止まれ停止線方面から来ると見通しが悪くバイクの交通量が多くスピードを出して来るため危険である。

(要求・改善策)

止まれの停止線があるが見通しが悪いのでカーブミラーの設置を要望する。

(調査結果)

バイクの交通量が多いが、一時停止・二次停止にて問題ない。近くを見ると逗子市として適切な場所にカーブミラーを設置されている。



横須賀市池上一丁目池上十字路交差点

(現状課題)

変則的な信号となっており衣笠方面から来た際、左折信号から始まりその後、青信号になり直進と右折ができるようになります。時間帯によって右折車両の渋滞が起きています。

(要求・改善策)

衣笠方面からの青信号を対向よりも長くしてほしい。

(調査結果)

対向車とのタイミングが同じに赤になってしまう為、交通量が多い時間帯は右折しづらい。右折矢印指示機の設置か時間帯によっての時差式を要望する。



三浦海岸交差点

(現状課題)

下り三崎引橋方面に向かう道路に右折ラインがあるが信号機が対向と同じタイミングで黄・赤になる。対向の停止線から交差点まで距離があり赤になってからの右折になり危険である。

(要求・改善策)

下りの信号機の青を長くしてほしい。

(調査結果)

同時に赤になってしまう為黄色で交差点に進入した時に接触の危険性が高いので時差式右折信号機を要望。



浦賀警察署入口

(現状課題)

2020年10月に浦賀警察署が久里浜1丁目に移転しましたが、二車線道路のカーブで右折して入る車両があるために危険な場所になっている。

(要求・改善策)

右折して入らないように道路ポールを設置を要望します。

(調査結果)

写真の通り、進入できないようになり別の入口から入るようになっています。

横浜地区連絡協議会道路調査

【メンバー】

高橋 徹・高嶋 和人・鈴木 善夫

【集合場所】

3月12日（金）9時集合 新杉田駅

【調査場所】

- ① 横浜市金沢区鳥浜町 3-5-2 （歩行者信号について）
- ② 横浜市神奈川区橋本町 2丁目交差点 （標識及び停止線について）
- ③ 横浜市中区不老町交差点付近 （横断歩道設置について）
- ④ 横浜市中区大和町 2-31 （カーブミラー設置について）
- ⑤ 横浜市中区根岸加層台 24-2 （カーブミラー設置について）
- ⑥ 横浜市泉区和泉中央南、伊勢山小学校入口交差点（子供の飛び出しについて）
- ⑦ 鎌倉市佐助 1丁目交差点 （補助信号について）
- ⑧ 逗子市桜山 7丁目 8番地付近 （カーブミラー設置について）
- ⑨ 横須賀市池上 1丁目池上十字路交差点 （時差式信号について）
- ⑩ 三浦海岸交差点 （時差式信号設置について）
- ⑪ 横須賀市久里浜 1丁目浦賀警察署 （道路ポール設置について）

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症対策で厳しい状況の中での調査となりました。人々の生活基盤である道路には様々な意見や見方がありますので、なるべくなら多くの目線で調査を行った方が良いと感じた。今回は参加したメンバー3名にて11件の案件を確認し精査いたしました。非常に危険箇所もあり様々な問題も懸念されますので早急に対応願いたい案件もあります。結果11案件中7件の案件を提出する判断となり③④⑧⑪の4件は見送る決断となりました。

横浜地区連絡協議会 2021年3月12日実施 道路調査感想文

今回はコロナ過ということで道路調査を行うかどうか、非常に悩みましたが、行った結果、中身を細かく精査することが出来たので、より充実した提言につなげることが出来ました。

当日は朝の9時から1日かけて道路調査を行い、やはり生活する中で、また、仕事をする中で、まだまだ、改善が必要とされる道路が数多くあると感じました。この先も運輸労連で働く仲間のために道路調査を行い、快適で安全な道路環境を目指していきます。

ヤマト運輸労働組合横浜支部 高橋 徹

1日かけて10箇所の確認をさせていただきました。全体を通して感じたのは、日本の車社会がつぎはぎだらけであるということです。

車の性能だけ進化して、人は退化し道路はそのまの場所が多いと感じました。

それと新しく道路が出来る事によって、信号機が複雑かつ対応が難しくなっているように思います。2019年5月に滋賀県大津市の交差点で保育園児の列に車が突っ込んだ痛ましい事故がありましたが、この交差点は右折のタイミングが非常に短い事により起きた事故でしたが、今回の道路調査においても散見されました。この事は社会問題として声を上げなければならないと感じました。

新栄運輸労働組合 高嶋 和人

今回は11件の案件があり全てを確認するのにかなりの時間を要しました。感じたことは用紙での説明と実際に自分の目で確認をするのではかなり違うことです。この道路調査の重要性をあらためて感じました。今回精査した結果11案件中7件の案件を提出する判断となり4件は見送る決断となりました。7件の提出する案件の回答が非常に楽しみです。今回は新型コロナウイルス感染症対策や日程的なものもあり一日で11件を確認することになりましたが、今後は2日間にするか人数を増員して行動するほうが良いと思います。

ヤマト運輸労働組合横浜支部 鈴木 善夫